

1. 科目名 (単位数)	暮らしと経済 (2単位)	3. 科目番号	SBMP1118
2. 授業担当教員	保原 伸弘		
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	今後開発経済や金融論を履修することで理解度は増します		
7. 講義概要	日常、テレビや新聞で見聞きする、我々の身近な生活を取り巻く経済問題を、経済学的な観点から考察する。またそれらの経済問題を題材にして、経済学的なものの考え方を身につける。経済問題や経済学という何かとつきにくく、縁遠い感覚を覚えるかもしれないが、実際には、意外とシンプルで、いったん身につけてしまうと、今後の社会生活を営んで行く中でも非常に便利なツールとなることがわかる。この講義を通じて、その生きていく上で有効なツールとしての経済学的な考え方が自然と身につくことを目指す。また、これまでなんとなく気になっていたにも関わらず未理解だった経済問題に整理をつけていくことを目指す。今回は日本経済を中心に学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在、日本経済でどのようなことが起こり、問題になっているかを認識する。</li> <li>2. 現在の日本を取り巻く経済問題を経済学の枠組みでとらえ直す。</li> <li>3. 経済学 (ミクロ経済学、マクロ経済学) の基本的な考え方を身につける。</li> <li>4. 数式やグラフを通じて物事を整理するという習慣を身につける。</li> <li>5. 今後、日本や世界で展開する経済問題に関心がもてるようにする。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	適宜課します		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】小峰隆夫・村田啓子著『最新日本経済入門 第6版』日本評論社。  【参考書】岩田規久男、ちくま新書『経済学を学ぶ』筑摩書房。  小峰隆夫、日経文庫ビジュアル『ビジュアル 日本経済の基本 第4版』日本経済新聞出版社</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済学に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できる。</li> <li>2. 身近な暮らしにおいて経済学的な考え方ができる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加度 50%</li> <li>2. 課題レポート 30%</li> <li>3. 小テスト 20%</li> </ol> <p>なお、単位認定には学則で定められた単位取得の条件 (3/4 以上の出席) を満たすことが必要である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>理解が不十分な点については、そのまま放置せずに、授業中あるいはオフィスアワーを利用して積極的に質問すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 授業中、積極的に自分の考えを発言すること。講義を単に学課を学ぶ場としてではなく、自分の考えをまとめ、発言するといった今後の学生生活や社会生活に必要なトレーニングの場と考えること。</li> <li>3. 現実の経済に比して、仮定が多い、経済学の議論の進め方に最初は違和感を覚えるかもしれないが、学習を進めると案外シンプルで有効なツールであることを実感して欲しい。</li> <li>4. これまで数式やグラフにアレルギーを持っていた人もいるかもしれないが、この講義をきっかけにしてそのアレルギーを克服して欲しい。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	別途通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス、日本経済と経済の基本	事前学習	日本経済で気になる点を考えてくる。
		事後学習	日本経済の概況は把握できたか確認する。
第2回	日本経済の全体像	事前学習	日本経済の規模を調べてくる。
		事後学習	GDP等はどう計算するか確認する
第3回	戦後日本の経済成長	事前学習	戦後日本の経済状況を調べてくる。
		事後学習	日本の高度成長の特徴を整理する。
第4回	景気循環の姿とそのとらえ方	事前学習	景気の循環はどういうプロセスをたどるか確認する。
		事後学習	景気の変動を表す諸指標を整理する。
第5回	ストックから見た日本経済	事前学習	平成期の日本の経済状況を調べる。
		事後学習	バブル発生と崩壊のプロセスを把握する。
第6回	雇用の変動と日本型雇用慣行の行方	事前学習	日本の伝統的雇用慣行の特色を調べる。
		事後学習	今後雇用制度はどう変化するか考えてくる。
第7回	産業構造の変化と日本型企业経営の行方	事前学習	40年前と今とで先行する産業はどう違うか確認する
		事後学習	今後日本の産業や経営はどう変化するか考えをまとめる。
第8回	物価の変動とデフレ問題	事前学習	日本のデフレの現状を把握する。
		事後学習	デフレの背景と克服の重要性を理解する。
第9回	貿易と国際収支の姿	事前学習	貿易はなぜ行われるようになるか考える。
		事後学習	経常収支とは何か、どう変動するか調べてく

			る。
第10回	円レートの変動と日本経済	事前学習	円レートの変動の影響を考えてくる。
		事後学習	円レート変動のプロセスを理解する。
第11回	直接投資と空洞化をめぐる議論	事前学習	ユニクロの隆盛は何を意味するか考えてくる。
		事後学習	所得税より法人税引上げの議論は正しいか
第12回	財政をめぐる諸問題	事前学習	日本の国債・地方債の累積残高を調べてくる
		事後学習	財政の役割と再建への方策をまとめる。
第13回	経済の鍵を握る金融	事前学習	昨今の日本銀行の方針転換は何か調べる
		事後学習	現在の金融政策の課題を整理する。
第14回	少子高齢化と社会保障	事前学習	日本の少子高齢化の現状を調べる。
		事後学習	少子高齢化が与える影響をまとめる
第15回	最後のまとめ	事前学習	ここまで未消化であった事項を整理する。
		事後学習	日本経済に関し自分なりの知見がもてたか振り返る。
期末試験			